

暑さ・寒さも彼岸まで

■ 残暑ニモマケヌ丈夫ナカラダ

雨ニモマケズ
風ニモマケズ

雪ニモ夏ノ暑サニモマケヌ

丈夫ナカラダヲモチ

慾ハナク

決シテ瞋ラズ

イツモシヅカニ

ワラツテイル

宮澤賢治

私の日課の一つに水まきがあります。暑い日の水まきは、まるで猫が甘えてくるかのように植物が喜び、もっと水が欲しいと聞こえるようで、ついつい余分にあげてしまいます。更にコンクリート壁からの熱も暑かろうと思い、壁にも水をまいて冷やしてあげます。するとどこからともなく風が吹いて涼しくなります。「小さな庭に水をまいた」という少しの変化で緩やかに周りの気温さえ変えてしまう。やはり自然というものは偉大です。

そんな自然の中の植物に比べ、私たちはどうでしょうか。ヒートアイランド現象の中にいるかと思えば、冷房が効いた建物の中にいる。いわば人工の気温の中で過ごしています。もちろん私も暑い外から冷房の効いた部屋に入ると「極楽」と快適です。しかしこのとき身体は、周りの環境に合わせようと急激に変化しています。熱湯を冷やそうと水を入れていた

長雨が続いたかと思えば、酷暑に突入。温暖化の影響でしょうか、ただ暑いだけの昔とは違った夏のような気がします。そんな中、皆様変わりなくお過ごしでしょうか。

ら、急に水を熱湯に変えなければならぬというようなことをしているのです。これでは体力を奪われて免疫が低下し、不調となるのも当たり前です。急激な変化をさけて、自然と同じように緩やかな変化を心掛けたいものです。

私たちは病を治すとき、医者から薬をもらいますが、「薬より養生」という言葉があるように、病気になってから薬を飲むより普段から身体をいたわりたいものです。健康であるために大切な「食」を見直すのもいいと思います。以前に住職の小嘶でお話しましたが「食」とは「気をいただく」ことです。「氣」という字は、もともと「氣」と書き、「氣」は湧き上がること。雲「米」は稲穂という自然を形どった文字です。植物や動物などの自然の気を取り入れ、身体をいたわりましょう。

最近「笑い」が免疫力向上や血行促進につながることがわかっています。これは取り入れた気が「笑い」によって、全身に巡つてしましました。これは取り入れた気も皆さんもよく噛んで、よく笑つて、残暑に負けず健やかにお過ごしください。

万松寺では8月10日からラッキーでお馴染みのきくち教兒さんが、健康3ツボ（医のツボ・食のツボ・笑いのツボ）をテーマに、境内で気の向くまま、足の向くまま話しかける「樂氣！俱樂部×万松寺スタジオ」を不定期で開催しています。

2013年、名古屋市中区丸の内に「医食同源」の観点から、洋の東西を問わない健康アドバイス処「4Kサロン」を設立。治療、MC、講演、研修会、薬膳、健康イベントのコーディネーターなど「医食タレント」の肩書きで活躍中。



きくち教兒氏プロフィール
「医食タレン」きくち教兒の
「樂氣！俱樂部×
万松寺Studio」

開催日 2019年10月14日(月)

きくち式 聽く知識
～健康のツボ・医・食・笑～

【医食タレン】きくち教兒の
「ウェルキャブ」が
イベントスペースに
やってくる♪



※展示車両の色・オプションは変更する事がございます

開催日 2019年10月13日(日)
14日(月)
場所 万松寺イベントスペース
主催 愛知トヨタ自動車株式会社

福祉車両「ウェルキャブ」の
展示会開催
展示会開催

僧侶が教える

仏教の豆知識

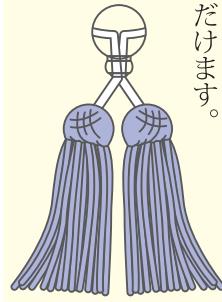
● 身近な仏具「数珠」 （房のアレコレ）

前回は、数珠の「珠」についてお話しをしましたので、今回は数珠の「房」についてお話しします。

とはいっても、数珠の房については一部の宗派の本式数珠には明確な決まりがあるようですが、略式数珠にはこれといった決まりはないようです。

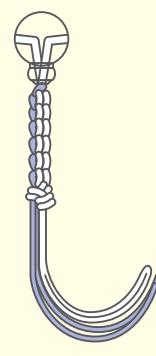
そこで今回の豆知識は、房の形・材質・色についてお話しします。

数珠に用いられる房の形は、「頭付房」（かしらつき）房」「梵天（ぼんてん）房」「紐房」などが代表的です。



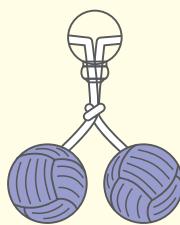
● 頭付房

数珠の中でよくみられる房の形です。糸の先端がループ状になっている「撫り房」は、先端がほつれにくく比較的長くお持ちいただけます。



● 紐房の数珠

組み結びをした紐の残りを流した状態の房の形です。宗派によつて、紐の本数や組の段数、結びの有無などの違いがあります。



● 梵天房

房の形です。木玉に糸をかかる「釈迦梵天」は、房の形が崩れにくくお手入れがしやすいです。



房のよれや汚れは、気になつても水洗いはおすすめしません。頭付房や紐房で房がよれた時は、蒸気にあてて伸ばすことである程度戻ります。房は取り換えることができますので、気になる場合は数珠屋さんにご相談されてはいかがでしょうか？

2回にわたり、身近な仏具である数珠の「珠」と「房」についてお話しをしました。ただ、数珠は見た目の違いだけでなく、お参りのときの持ち方についても宗派や地域の風習などそれぞれの決まりがある場合があります。ご自身に合う数珠がどのようなものか僧侶などに聞いてみるといいかもしれません。

末永くお護りくださる数珠に巡り逢えますよう、末筆ながら祈念申し上げます。

房の材質は、正絹・人絹の絹糸が用いられることが多いですが、最近ではポリエステル素材のものもあります。正絹は人絹に比べて高価ですが、長くお持ちいただけます。

房の色は、昔は白や紫が多かったようですが、最近では多くの色があり、お好みで選ぶことが増えているようです。

行事・祈祷・供養の
お問合せ・お申込みは

祈祷受付（または
052-262-0735
(年中無休 9時～20時)
にて承ります。

● 身代わり餅つき18時～
身代不動明王縁日
毎月28日開催



12/7(土)
8(日)
スジヤータ
まつり

お釈迦様のお悟りの日（成道会）をお祝いします。

7日の宵山では、奉納された提灯を山車に飾り、18時から逮夜法要と点灯式が行われます。8日は、スジャータ姫が山車とともに大須商店街をパレードします。パレード終了後、成道会の法要と牛乳配削を行います。



9/28(土)
秋期 不動明王大祭

身代不動明王のご真前にて災難消除、病氣平癒、無病息災、身体健全、交通安全、家内安全の祈祷を行います。

9/20(金)
21(土)
秋彼岸 合同法要



12/16(月)

秋葉大祭

※行事予定は変更となる場合があります。詳しくは万松寺までお問い合わせください。

あきばさんじやくぼうだいごんげん
秋葉三尺坊 大権現のご
真前にて火防守護などの祈祷を行います。



故人とご遺族の今を描く絵画
きずなえてん
絵画展
～今を生きること～

8.31 Sat. - 9.8 Sun.

親友の他界がきっかけで生まれた
故人の「今」を描く絵画（きずなえん）。
「絵画展」は活動を始め2年、描いてきた
絵画を、ご遺族のご依頼に至った絵縞や感想と
ともに展示するものです。

大切な繋がりを忘れてしまいそうになるこの
時代に「絵画」を知りいただける機会となれば幸いです。

10:00～18:00 | 作家在廊 / 16:00～18:00 |

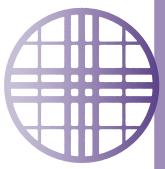
万松寺 白龍館 (4階)

入場無料

f o t w 絵画

これから行事

住職の



小嘶



■オレンジ色の魂【第三章】 （「氣」との出逢い）

これまで、数回にわたり「氣」についてお話しをしてきました。まず、僧侶の発するお經は、魂をきれいな丸い形に変える力があるという「お經が魂（エネルギー）」「氣」に与える影響。次に、気が流れないと血液の流れが悪くなり、病になり易くなるという「病と氣の関係」。そして前回、悪い気を身体の外に出して良い気を取り入れるといふ「氣の巡りから考える、上手な氣との付き合い方」でした。

そもそもなぜ私が「氣」に興味を持ち、見知を広げる事となつたのか。今回はそのきっかけとなつた「氣」との出逢いについてお話しします。

私と「氣」との最初の出逢いは、今から25年ほど前に知り合ひと行つたあるショーパブでの体験でした。そこでは、マスターが「スプーン曲げ」をするショーパンが行われていました。元号が平成になつたころ、ユリグラーがテレビなどで披露するスプーン曲げを、何かタネがある手品だと思つていた人も多いと思いました。私もそのうちの一人でした



そのスプーン曲げの体験から十年ほど経過し、その時の体験を忘れかけた頃、私は母を通していつも衝撃的に「氣」と出逢うこととなりました。

当時、私の母は癌とともに生きていきました。3度目の再発がわ

かつたとき、それはもう末期癌でした。とても稀な癌だったようで、適合する抗癌剤などがなく、医師から余命1ヶ月と宣告されました。そのとき母が「ただ天に召されるその時を待つのではなく、藁にもすがる思いで氣功にかかりたい」と願い、家族はその願いを尊重しました。母の願いは叶いある氣功師の施術をうけました。月日は流れ余命とされた1か月後のレントゲン検査の日を迎えました。すると、全身に33箇所も転移していた癌が、なんと跡形もなく消えていたのです。主治医は「西洋医学では説明がつかない」と驚いていました。

この嘘のような本当の出来事を間近で体験した私は、西洋医学で治らなかつたものを治した東洋医学に興味を持ち、その根本に「氣」があることを知りました。さらに「氣」について知識を深めいくと、母の病は「気が滞つた」ことで引き起こされ、氣功をうけて「気が巡つた」ことで快方に向かつただのだと理解しました。母はその後の人生を力強く歩み、今は仏様のもとへ旅立ちました。きっと今も天から見守ってくれているはずです。

もうひとつ私の2匹の愛猫にまつわるかわいい「氣」との出逢いをお話しします。それは、私が肩の鞄帯を3本も切る怪我をして痛みで動けず床に伏している

ときに、猫たちが寄ってきて、服の上からでは見えないはずの怪我の部分を、長い間ペロペロと舐めてくれたというもの

です。



大人の寺子屋

（万松寺住職との氣楽なお茶会）

講師 万松寺住職

参加費 300円
(お抹茶・お菓子付き)

開催日

9月15日(日)
10月13日(日)
11月10日(日)

時間 10時半～12時
(受付 10時)

時 間 会 場
9月15日(日) 10時半～12時
10月13日(日) 10時半～12時
11月10日(日) 10時半～12時
会場 白龍館4F

開催日

毎週日曜日 9時～10時

会場 本堂2F

万松寺の仏教講座

写 経 会

(定員…20名)

毎月第1土曜日 16時～17時半

会場 白龍館4F

写 仏 会

(定員…20名)

毎月第2・4土曜日 16時～17時半

会場 白龍館2F

写 仏 教勉強会

(定員…20名)

毎月第3土曜日 16時～17時半

会場 白龍館4F

講 師

万松寺僧侶

参 加 費

500円

今日は私の「氣」との出逢いのほんの一部をお話しさせていただきました。

「氣」とは知れば知るほど奥が深いものです。おそらく皆さんが意識していないだけで、この「氣」は私たちの生活に意外と深く、様々なことに関係しているのだとは私は思います。「大人の寺子屋」は、このような話を深く、樂に語り合う場になります。もしも興味を持たれましたら、「氣」軽に遊びに来てください。

詳しくは万松寺のWEBサイトもしくはお電話にてご確認下さい

お申し込み・お問合せ

合掌

電 話

W E B

万松寺 学び舎

検索

052-262-0735

